

いざという時の 頼れる避難所

近年、地震や豪雨などの大きな災害が全国各地で発生しています。災害から自分の身を守るには、危険な状況になる前にいち早く避難することが大切です。万が一の時に皆さんを守る避難所などの基本的な情報や日頃からの備えについて紹介します。

問い合わせ 防災安全センター ☎24・8150

自分たちの避難所を自分たちで運営



市では、災害発生時に住民が一時的に避難する必要がある場合、小松市地域防災計画に基づき、避難所を開設します。しかし、大規模災害発生時には、行政だけでは避難所の開設や運営は困難となることが想定されています。

そこで、現在16の校下・地区が「避難所運営協議会」を設立し、地域住民が主体的に避難所の運営に携わる取り組みが始まっています。

地域で避難所運営を行うメリット
●スムーズに開設・運営ができる
●あらかじめ役割分担を決められる
●迅速な地域の状況把握と安否確認
●避難者が気軽に相談できる



▲運営体制を組織化し、役割を決めておくことが大事です。防災士のアドバイスを受けながら開設や運営の訓練を行います。



みんなに「やさしい」避難所づくり

皆さんが安心して過ごせるよう、やさしい避難所づくりに取り組んでいます。

①女性にやさしい

災害時、女性はトイレや着替えなどに困ることがあるため、避難者が相談しやすい環境づくりを進めます。

●防災士420人のうち117人が女性(約28%)

●しみん救護員475人のうち214人が女性(約45%)

②妊娠中や産後、乳幼児にやさしい

学校の避難所では保健室を開放し、授乳が行える場所を確保するなどの対応をします。

③障がいのある人、介護が必要な人にやさしい
畳の部屋がある避難所では、サポートが必要な人を優先し、安心して休めるスペースを作ります。

④外国人にやさしい

全ての指定避難所で「多言語表記案内表示」を行います。



危険な場所をあらかじめ確認



災害の状況に応じて、避難情報を発令します。内容をよく理解し、慌てずに行動してください。

また、身の危険や不安を感じる人は、

避難の種類は3段階プラス1

左記の1から3の避難情報発令前であっても自主的に避難ができるよう、市内4カ所の施設を開放します。

自主避難

下記4カ所に自主避難ができます。
・芦城センター ・第一コミセン
・市民センター ・南部公民館

1 避難準備・高齢者等避難開始

避難準備をしてください。
避難に時間が掛かる人(高齢者・乳幼児など)は避難を開始してください。

2 避難勧告

危険な状況が迫っています。
避難を開始してください。

3 避難指示(緊急)

大変危険な状況です。
直ちに避難してください。

地域の危険箇所や避難所などを示した「ハザードマップ」と、各種災害の対応や避難時の心得を記載した「わが家の防災ファイル」。どこに片付けたのか分からなくなっていますか。河川が氾濫した場合の浸水高や土砂災害の危険性がある場所など、事前に確認できることはたくさんあります。今一度、自宅や学校、職場など、普段の生活の中で、どこにどんな危険があるのかを知っておくことも大切です。

内容が変わります



近年の災害発生状況を踏まえて、内容を見直します。新しいファイルは、来年初旬までに各家庭へ配布予定です。



9月は防災月間

防災掲示板

いざという時の備えは万全ですか。

非常持ち出し品を準備

避難に備え、非常持ち出し袋をすぐに持ち出せるようにしておくことが大切です。

例えば、

- 貴重品類 ●食料品(アレルギーの人は専用食品を準備) ●飲料水
- 衣類 ●常備薬 ●ラジオ
- 懐中電灯 など

※就寝時は、携帯電話やメガネなどを手の届く所に置いておきましょう。

避難所を事前にチェック

市内には67カ所の避難所があります。

近くの避難所まで実際に歩いてみて、安全で避難しやすいルートを探してみましょう。



情報を収集しよう

防災行政無線のほか、ホームページやSNS(Facebook、Twitter)、メールマガジンでも災害情報や避難情報を発信しています。

また、消防本部でも災害メールを配信しています。自分に合ったツールを活用し、情報収集できるようにしておきましょう。

市消防本部災害メール配信サービス
問い合わせ ☎20・1119



◀スマートフォン用

携帯電話用▶

